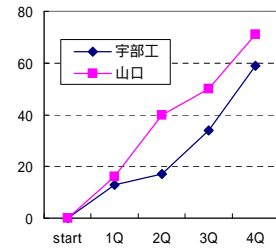


平成17年度 山口県高等学校バスケットボール新人大会兼山口県体育大会
H18年(2006年)1月20日(金)・21日(土) 宇部市俄田翁記念体育館

男子決勝リーグ 1月20日 9:30

宇部工 vs 山口	13 - 16	4 - 24	17 - 10	25 - 21	59 - 71
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
宇部工 #5 池田 #6 岩木 #7 摩嶋 #10 宗野 #11 三輪 主審 渡辺 博史					
山口 #4 有光 #6 隅廣 #7 丸岩 #8 土井 #10 太田 副審 山村 征大					

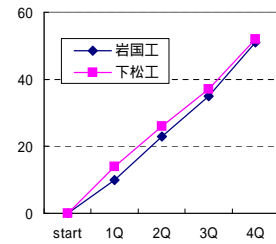
両チームマンツーマンDEFで試合開始。宇部工は序盤、#10宗野のジャンプシュート、#6岩木のドライブ等で得点しリードする。一方山口は、立ち上がり少々堅さが見られたが、徐々に粘り強いDFを發揮し、相手の勢いを止めにかかると、#4有光の3Pで同点に追いつくと、得意のシステムOFFで着実に加点し、1Qを13 - 16と、山口がリードする。2Q、宇部工は相手の堅い守りに攻め手なく、13 - 20とリードを広げられ、1回目のT.Oを取る。その後も、インサイド陣にボールが入らず苦しいバスケットを強いられる。一方山口は、#6隅廣のドライブ、#10太田のジャンプシュートがリズムよく決まる。DEFも手をゆるめることなく、相手の得点を4点に抑え、17 - 40と山口が大きくリードし前半終了。後半に入り、宇部工は、#6岩木の3Pで何とか食らいついていく。3Qを34 - 50と点差を縮めにかかると、4Qも宇部工は外角攻勢で、#8岸本の3Pが連続で決まるが、追いつくまでには至らず、結局59 - 71で山口が勝利した。



男子決勝リーグ 1月20日 11:00

岩国工 vs 下松工	10 - 14	13 - 12	12 - 11	16 - 15	51 - 52
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
岩国工 #4 垣田 #5 野瀬 #10 松永 #15 國原 #18 橋本 主審 有澤 重行					
下松工 #4 荒川 #5 綾部 #6 田中 #7 栗山 #13 松永 副審 藤田 薫					

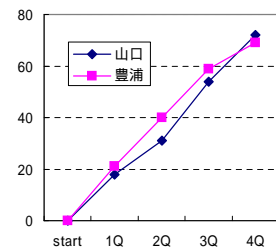
両者マンツーマンでスタート。前半、ツインタワー擁する岩工に対し、下工はインサイドに対しダブルチームを仕掛けミスを誘う。OFFでは#6がゴール下を頑張り、得点を重ねる。岩工はミスを連発し、波に乗れないが、下工もノーマークの外角シュートが決まらず点差は開かない。26 - 23下工リードで後半へ。3Q、互いに粘り強いDEFをし、両者とも得点は伸びず、37 - 35下工リード。4Q、下工はプレスからゾーンに変化し勝負にでる。一時4点差まで開くが、岩工#10がコートに戻り、3P、ドライブと一気に逆転する。下工はマンツーマンに戻すが機能せず、残り2分で岩工3点リードする。下工は残り57秒で#5がファウルをもらい、2本のフリースローを決め1点差。すくDEFでスティールし逆転。岩工は#15がゴール下を沈め再逆転。残り26秒下工タイムアウト。岩工がこのまま逃げ切るが見えたが、最後の最後で岩工が痛恨のファウル。下工#7がフリースローを落着いて2本とも決めタイムアップ。52 - 51下工が大逆転勝利を収めた。



男子決勝リーグ 1月20日 12:30

山口 vs 豊浦	18 - 21	13 - 19	23 - 19	18 - 10	72 - 69
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
山口 #4 有光 #6 隅廣 #7 丸岩 #8 土井 #10 太田 主審 松本 隆志					
豊浦 #4 三池 #5 坂根 #7 岸田 #8 高橋 #10 徳富 副審 嘉村 司					

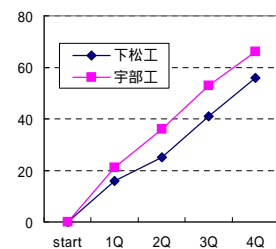
DEFは両チームマンツーマン。1Q先手を取ったのは豊浦。#5のカットイン、3P、ジャンプシュート、#4のポストプレイなどで4分11 - 5とリード。一方、山口は、#13の速攻、3Pで追い上げる。2Q一進一退の攻防が続く、前半は40 - 31豊浦リードで終了。3Q山口は#4、#6のジャンプシュートで42 - 36と追い上げるものの詰まらない。4Q、2分豊浦は#5の3P、#10の速攻で64 - 54とリードを広げる。山口はDEFを2 - 1 - 2ゾーンにチェンジ。これが試合の流れを大きく変えた。4分、豊浦#11が5ファウル退場後、山口#13#7のジャンプシュートで6分までに65 - 61と4点差に詰め寄る。豊浦は攻撃が単調になり得点が伸びず残り2分山口#14のリバウンドシュートでついに67 - 67の同点となる。残り1分30秒。山口#10が走り、69 - 67と逆転。豊浦は残り2秒、#5がフリースローをきっちり決めて69 - 69と同点に追いつく。延長戦かと思われたが、山口はエンドスローイン#13から#8にパスがわたり3P。これがブザービーターとなり山口が劇的な勝利をおさめた。



男子決勝リーグ 1月20日 14:00

下松工 vs 宇部工	16 - 21	9 - 15	16 - 17	15 - 13	56 - 66
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
下松工 #4 荒川 #5 綾部 #6 田中 #7 栗山 #13 松永 主審 高木 直樹					
宇部工 #5 池田 #6 岩木 #7 摩嶋 #10 宗野 #11 三輪 副審 勝原 芳徳					

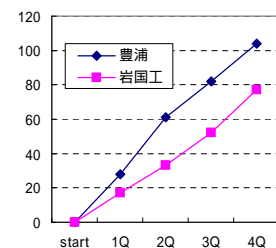
両者マンツーマンでスタート。宇部工は思い切りのよい外角シュートから得点を伸ばす。#6は1Q3P3本を含め12点の大爆発。対する下松工も#4#7の3P、#6のゴール下で得点していく。DEFでは下松工は相手のボール運びでピンチプレーを仕掛け、宇部工のミスを誘う。2Q途中、下松工#7が4つ目のファウルを犯し、攻めの中心を失い苦しい展開。前半は36 - 25宇部工リードで折り返す。3Q、下松工はプレスからゾーンに変化し、積極的にガードにトラップを仕掛けに行き追いつきにかかるが、外角のシュートやフリースローがごとごとくゴールに嫌われ、波に乗ることができない。徐々に相手DEFに慣れてきた宇部工は#5がゴール下やりバウンドを粘り、加点していく。53 - 41で宇部工リードで最終4Qへ。4Q、下松工は#7がコートに戻り連続得点し息を吹き返す。また、#6が攻守にわたり活躍し、残り1分20秒で5点差まで追い上げるが、宇部工はミスをしながらも何とか逃げ切り、66 - 56で終了。お互いに初日を1勝1敗で明日を迎える。



男子決勝リーグ 1月20日 15:30

豊浦 vs 岩国工	28 - 17	33 - 16	21 - 19	22 - 25	104 - 77
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
豊浦 #4 三池 #5 坂根 #7 岸田 #10 徳富 #11 河本 主審 河村 正夫					
岩国工 #4 垣田 #5 野瀬 #10 松永 #12 國原 #18 橋本 副審 藤井 正則					

両者マンツーマンでスタート。豊浦#5、岩工#15のシュートで始まる。豊浦、出足シュートが入らず苦しい展開。岩工は、#10のシュートからリズムが出て、得点を重ねる。残り4分から豊浦モーションオフェンスからリズムを取り戻し得点を重ね、20 - 15と豊浦リード。たまたま岩工T.Oをとるが、豊浦DEFから速攻で更にリードを広げる。2Q、豊浦ブレイクで#5の3Pなど決まり、一気に得点を離そうとする。岩工は#5で食い下がろうとするが、豊浦の1対1を止められず、点差は開く一方で、2Q、61 - 33で終了。3Q、豊浦#7#5の連続3Pで始まった。岩工、豊浦一進一退の攻防が続く。岩工は、エンドからのフォーメーションプレイで点を重ね、豊浦もモーションオフェンスから3P、カットインで得点を重ねる。3Q、82 - 52で終了。4Q、豊浦のリズムは変わらない。岩工はセンターのリバウンドで頑張るが、3Qまでについた点差は大きい。豊浦オールメンパーチェンジをする。結果104 - 77で試合終了。初戦悔しい負け方をした両チームの軍配は豊浦にあがった。



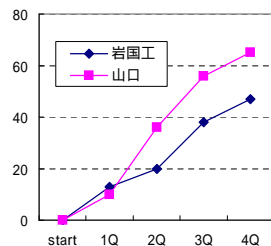
平成17年度 山口県高等学校バスケットボール新人大会兼山口県体育大会
H18年(2006年)1月20日(金)・21日(土) 宇部市俵田翁記念体育館

男子決勝リーグ 1月21日 9:30

岩国工 vs 山口 13 - 10 7 - 26 18 - 20 9 - 9 47 - 65

Starters
岩国工 #4 垣田 #5 野瀬 #10 松永 #15 國原 #18 橋本 主審 小池 正夫
山口 #4 有光 #6 隅廣 #7 丸岩 #8 土井 #10 太田 副審 勝原 芳徳

両チームマンツーマンDEFで試合開始。1Q岩国工は動きが堅く、2分過ぎで早くもT.O.。その後は#5を中心にインサイドから得点し、相手のファールを誘う。山口は、#6に対する厳しいマークで流れをつかめず、立ち上がり10 - 4とリードを許す。5分過ぎに山口1回目のT.O.をとり、その後はいつものパッシングOFFのリズムを取り戻し1Q終了。2Q岩国工はセカンドチームで臨むが、OFFの起点が作れずミス連続。流れは山口に傾く。山口は激しいDEFプレッシャーで相手のミス誘い、速攻を仕掛け#13#8が次々に得点を重ね逆転に成功。途中#7の負傷退場というアクシデントもあったが、20 - 36と山口が大きくリードし前半終了。3Q岩国工は1Qと同じメンバー。#5のインサイドにボールを集め得点する。リードしている山口は#13のドライブと#10のジャンプシュートが冴え追従を許さない。4Q岩国工は再びセカンドチームで臨みアーリーOFFを仕掛けるが、得点差を縮めるには至らず47 - 65で試合終了。山口が勝利した。

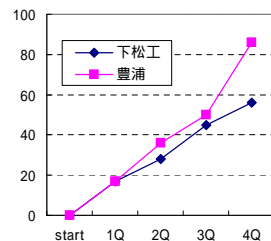


男子決勝リーグ 1月21日 11:00

下松工 vs 豊浦 17 - 17 11 - 19 17 - 14 11 - 36 56 - 86

Starters
下松工 #4 荒川 #5 綾部 #6 田中 #7 栗山 #13 松永 主審 渡辺 博史
豊浦 #4 三池 #5 坂根 #7 岸田 #10 徳富 #11 河本 副審 浅利 祐輝

両者マンツーマンでスタート。下松工#6のシュートで始まる。出足、下松工のシュートが入りリードを奪う。豊浦は速攻から#5の3Pなどで食い下がる。1Q17 - 17。2Q、下松工インサイドについて攻める。豊浦#5のシュートでジリジリ点差を広げにかかると、その後、一進一退の攻防が続く。2Q、36 - 28。豊浦リードで終了。3Q、下松工前半と変わらずインサイド・インサイドと攻めを徹底する。豊浦が嫌がり点差をつめていく。豊浦#11のオフェンスリバウンドからカウントシュートで得点をかせぎ3Q、50 - 45で終了。4Q、両者ディフェンスを頑張る。しかし、豊浦のシュートが戻り、#4と#5のシュートが止まらない。残り5分下松工たまたまT.O.。63 - 49豊浦リード。その後、豊浦がDEFプレッシャーをかけてたまたま込みにかかると、下松工プレッシャーに対する焦りからミス連続。そのまま86 - 56で試合終了。豊浦が2勝目をあげ中国大会出場に1歩近づいた。

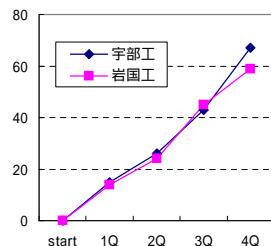


男子決勝リーグ 1月21日 12:30

宇部工 vs 岩国工 15 - 14 11 - 10 17 - 21 24 - 14 67 - 59

Starters
宇部工 #5 池田 #6 岩木 #7 摩嶋 #10 宗野 #11 三輪 主審 松本 隆志
岩国工 #4 垣田 #5 野瀬 #10 松永 #15 國原 #18 橋本 副審 中村 秀昭

両チームとも、この試合は落とせないという緊張感の中で試合開始。DEFは両者マンツーマン。1Q宇部工は#6の3連続3P等で加点。一方岩国工は#18のインサイド、リバウンドショット等で対抗し互角の展開。2Qの立ち上がりは両チームともミスが目立ち、膠着状態が続く。その後宇部工#7#12のバスケットに対し、岩国工#15がジャンプシュートとドライブで返し、1ゴール差で前半終了。3Q宇部工はポイントが攻められず、外中心の苦しいOFFを強いられる。逆に岩国工は、#15の1ON1と#18のインサイドで逆転に成功する。宇部工チームを救ったのが#6の3Pと#10のジャンプシュート。宇部工の外角砲と、岩国工のインサイドの攻防で、3Qは43 - 45で終了する。運命の4Q宇部工#8の1番DEFが際立ち、激しいプレッシャーで、OFFの芽を摘んでいく。#6#10の3Pも決まり、53 - 45と宇部工が抜け出す。岩国工T.O.後、宇部工#6#10と、岩国工#10#15の3Pの入れ合いとなったが、野球部の大声援を受けた地元宇部工が追いすがると岩国工を振り切り、中国大会の出場権を手に入れた。

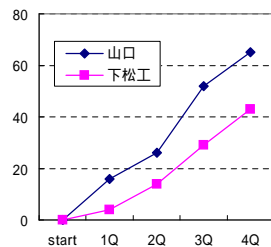


男子決勝リーグ 1月21日 14:00

山口 vs 下松工 16 - 4 10 - 10 26 - 15 13 - 14 65 - 43

Starters
山口 #4 有光 #6 隅廣 #8 土井 #10 太田 #14 中原 主審 川武 修
下松工 #4 荒川 #5 綾部 #6 田中 #7 栗山 #13 松永 副審 石原 大資

両者マンツーマンでスタート。前半、山口は#6の連続3Pで先制。対する下松工は#6のインサイドで対抗。下松工は山口のOFFをよく読みスティールするが、自分たちもパスミスやドリブルミスで波に乗れない。互いにドライブに対するヘルプが早く、容易には得点できない。2Q残り3分で19 - 12と山口リードするもののロースコアゲーム。これは下松工ベースかと思いきや、ここから山口が走り12点をつけ折り返す。3Q出だしたまも下松工ミスから走られ、突き放される。終盤山口は余裕のメンバーチェンジをみせる中、下松の#6はゲームを通して、リバウンド、ゴール下のシュート、体を張ったプレーが印象に残った。両チームとも持ち味のDEF力は見せたが、終始山口は安定した外角のシュートを維持したのが勝負を決めた。山口は決勝リーグを4勝し、完全優勝。中国大会での活躍を期待したい。

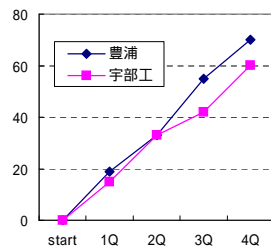


男子決勝リーグ 1月21日 15:30

豊浦 vs 宇部工 19 - 15 14 - 18 22 - 9 15 - 18 70 - 60

Starters
豊浦 #4 三池 #5 坂根 #7 岸田 #10 徳富 #11 河本 主審 有澤 重行
宇部工 #5 池田 #6 岩木 #7 摩嶋 #10 宗野 #11 三輪 副審 内田 昭紀

両チームともマンツーマンでスタート。1Q豊浦は#10のドライブを起点に攻め、宇部工は#6のジャンプシュート、#10の3Pで対抗互角の立ち上がりとなる。7分豊浦は#5#4の3Pで19 - 11とリードするも、宇部工も#7のインサイド、#5の合わせで追い上げる。2Q豊浦は#10が3P、フリースローと活躍するが、宇部工も#6のリバウンド、#10の3Pで対抗し、接戦となる。宇部工は#6の連続得点で同点に追いつき、前半終了となる。3Q立ち上がり豊浦の#5が1on1を決めたところで、宇部工は1回目のT.O.。DEFを1 - 3 - 1ゾーンに変える。それに対し豊浦はゾーンを上手く攻め、#8の速攻、3P、#7#4の3Pなどで得点を重ねる。宇部工はOFFのリズムを崩し得点が伸びず、3Q55 - 42豊浦13点リードで終了。4Qに入っても、豊浦の勢いは止まらず、#11のリバウンド、#7の連続3Pで更にリードは広がる。宇部工も5分過ぎから、#6、#8の3P、#7のポストプレイで追い上げたが届かず、豊浦が勝利し2位を決定した。



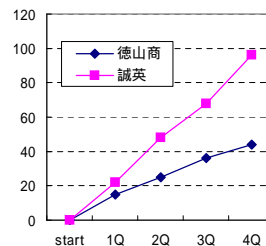
平成17年度 山口県高等学校バスケットボール新人大会兼山口県体育大会
H18年(2006年)1月20日(金)・21日(土) 宇部市俄田翁記念体育館

女子決勝リーグ 1月20日 9:30

徳山商 vs 誠英 15 - 22 10 - 26 11 - 20 8 - 28 44 - 96

Starters 1Q 2Q 3Q 4Q TOTAL
徳山商 #4 河野 #5 平川 #7 浅田 #10 福田 #12 船木 主審 中村 秀昭
誠英 #4 田中 #7 重森 #8 西田 #9 梶田 #14 前田 副審 岡村 知佳

共にハーフコートマンツーマン。OFFは共によく動き、誠英は#7#9が得点、徳山商は#7#8#12が活躍し、5分で9 - 8と徳山商リード。しかしその後、誠英は#8#9の長身者2人が、1対1やハイローなどで得点を重ね、誠英リードで試合が進む。徳山商も#4の1対1や#5の3Pで対抗するが徐々に差がつき15 - 22と誠英リードで1Qを終える。2Qに入っても誠英は#8#9のハイローの合わせ等を中心に攻めを組み立てる。徳山商はなかなかインサイドにボールが入らず、外郭のシュートも打てない。ドライブから外にあわせるが、シュートが入らず2Qを終わって25 - 48と誠英のリードが広がった。3Qの立ち上がりも誠英は#8#9の得点でリードを広げる。5分、誠英#8は4ファール。しかし、出し続ける。徳山商はボールを持たないようディナイをきつくするが、誠英もポストの裏を狙い得点する。徳山商は果敢にドライブで攻めるが、誠英の高さに阻まれ得点できない。36 - 68で3Qを終了。4Qに入っても流れは変わらず、44 - 96で誠英が勝利した。

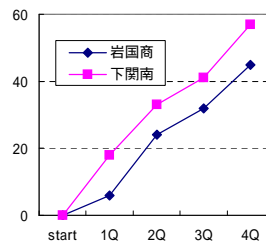


女子決勝リーグ 1月20日 11:00

岩国商 vs 下関南 6 - 18 18 - 15 8 - 8 13 - 16 45 - 57

Starters 1Q 2Q 3Q 4Q TOTAL
岩国商 #4 井上 #5 三品 #6 小野 #7 佐伯 #8 富岡 主審 重政由佳里
下関南 #4 田澤 #6 永富 #9 畑野 #13 八色 #15 中川 副審 尾中 優子

お互シュートが入らず重い展開。その中で下関南はオールコートで岩国商の攻撃のリズムを崩し、3Pやリバウンドで得点に結びつける。残り2から岩国商が下関南のDEFにはまり、ミス連続。下関南が一気にリードを広げ1Q終了。2Q岩国商は下関南のオールコートに対し#4が一気に抜き去り攻撃の起点を作る。また、#5の3Pなども決まりだし反撃開始かと思われたが、下関南も単発ながらシュートを決め岩国商にスパートを許さず24 - 33で前半終了。3Q岩国商はDEFをオールコートにし反撃を試みる。下関南は疲れから攻撃の足が止まり苦しい。つけ込みたい岩国商だがインサイドへのパス等をカットされ、32 - 41と下関南がリードを守り最終Qへ。岩国商は外郭にあたりが来ない。下関南も3Q同様、足が止まり良いOFFができないものの岩国商のまづい攻めにも助けられリードを保つ。結局最後まで外角にあたりが来なかった岩国商はOFFのリズムを立て直すことができないまま試合終了。45 - 57で下関南が貴重な一勝をあげた。

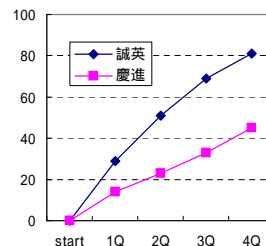


女子決勝リーグ 1月20日 12:30

誠英 vs 慶進 29 - 14 22 - 9 18 - 10 12 - 12 81 - 45

Starters 1Q 2Q 3Q 4Q TOTAL
誠英 #4 田中 #7 重森 #8 西田 #9 梶田 #14 前田 主審 中本 朋仁
慶進 #4 高橋 #8 藤井 #10 三池 #11 渡辺 #14 金光 副審 行本 宏美

両者マンツーマンでスタート。出足、誠英は#9が立て続けに得点を重ね一気に離しかかる。対する慶進は、3Pで対抗する。1Q終了29 - 14誠英リード。2Q、誠英の身長の高さが気になるのか、慶進が誠英のマンツーマンを攻めあぐむ、逆に誠英は高さを利用して攻める。残り6分慶進タイムアウト。その後も誠英は台形内を確実に攻め加点していく。前半51 - 23。3Q、前半と変わらず両者マンツーマンでスタート。慶進#10の3Pで始まる。誠英は、内外を自由自在にかき回す。慶進は高さを前になかなか攻めきれず点が止まる。誠英、交代した#15がいきなり3Pを決めるなど怒濤の攻めを展開する。3Q終了69 - 33。4Q、誠英メンバーを代えてくるが、インサイドが強くDEFも変わらない。対する慶進は#8と#15がインサイドで対抗する。慶進、モーションOFFから確実に1本1本攻める。しかし、前半での差が大きく81 - 45で試合終了。慶進は、チームが若く、これから期待できると思う。対する誠英は中国大会に近づく2勝目をあげた。

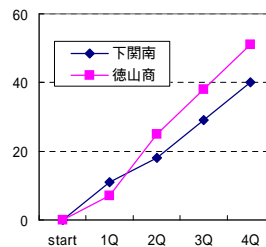


女子決勝リーグ 1月20日 14:00

下関南 vs 徳山商 11 - 7 7 - 18 11 - 13 11 - 13 40 - 51

Starters 1Q 2Q 3Q 4Q TOTAL
下関南 #4 田澤 #6 永富 #9 畑野 #13 八色 #15 中川 主審 松本 理
徳山商 #4 河野 #5 平川 #7 浅田 #10 福田 #12 船木 副審 石原 大貴

下関南は#4の連続ポイントでよいスタートを切る。徳山商は速いパス回しでよく動くが、得点に結びつかず苦しい展開。徳山商はミスも出て11 - 7下関南リードで終了。2Q下関南は攻めあぐみ得点が止まる。対して徳山商は#4のドライブが決まりだし逆転に成功。18 - 25と徳山商がリードし前半を終える。3Q下関南はセットプレーを仕掛け活路を見出そうとするも、動きを読まれミスとなってしまふ。DEFを2 - 3のゾーンに変え反撃を試みる。徳山商はショートコーナーをうまく使い得点する。下関南も#13の3Pなどで食い下がり、38 - 29徳山商リードで最終Qへ。下関南はゾーンを継続する。徳山商は最初は3Q同様、うまく得点していたが何故か動きが止まり得点も止まる。下関南はここで#6がインサイドで頑張り42 - 35と少し点差を縮めたところで徳山商T.O.。功を奏し、徳山商#5の3Pが開始早々炸裂、リードを1マークとし余裕が出る。下関南はオールコートのプレスを仕掛けたものの逆転には至らず試合終了。徳山商が本日1勝目を上げる。

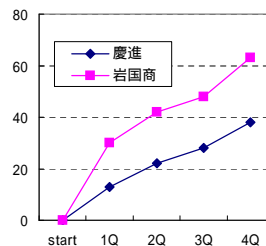


女子決勝リーグ 1月20日 15:30

慶進 vs 岩国商 13 - 30 9 - 12 6 - 6 10 - 15 38 - 63

Starters 1Q 2Q 3Q 4Q TOTAL
慶進 #4 高橋 #7 中尾 #8 藤井 #10 三池 #14 金光 主審 内田 昭紀
岩国商 #4 井上 #5 三品 #6 小野 #7 佐伯 #8 富岡 副審 浅利 祐輝

DEFは共にマンツーマン。慶進は#7が3Pを決めるが、岩国商は#7のインサイドを上手く使い、5分17 - 6と大きくリード。ここから慶進は反撃を試み、#7のフリースローなどで7分19 - 11と追い上げる。しかし、ここから岩国商の#6#7の3Pが連続して決まり、25 - 11となる。1Qは30 - 13、岩国商リードで1Q終了。2Q、岩国商は#7が3P、リバウンドと大活躍。4分までに34 - 13と21点差までリードを広げる。慶進は#8のインサイド、#4のフラッシュで対抗するが、42 - 22と岩国商が大きくリードして終了。3Q、岩国商#5の裏をついたプレーや慶進#8のインサイドで得点するも両チーム共々シュートが入らない。慶進は7分、9分とタイムアウトを取るが、得点差は変わらず48 - 28、岩国商リードで終了。4Q、慶進はDEFを頑張るが岩国商も落ち着いてゲームをコントロール。結局、このまま岩国商が63 - 38と勝利した。

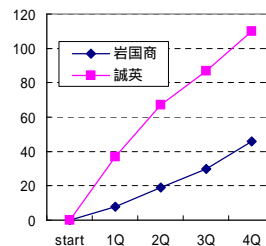


平成17年度 山口県高等学校バスケットボール新人大会兼山口県体育大会
H18年(2006年)1月20日(金)・21日(土) 宇部市俄田翁記念体育館

女子決勝リーグ 1月21日 9:30

岩国商 vs 誠英	8 - 37	11 - 30	11 - 20	16 - 23	46 - 110
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
岩国商 #4 井上 #5 三品 #6 小野 #7 佐伯 #8 富岡 主審 藤井 正則					
誠英 #4 田中 #7 重森 #8 西田 #14 前田 #15 大城戸 副審 行本 宏美					

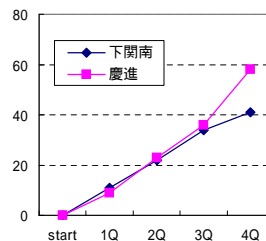
岩国商業はジャンプボールから#5がドライブし率先のよいスタートを切ったかに思われたが、その後、誠英のオールコートDEFに苦しみミス連続、8 - 37と大きく誠英にリードを許し1Q終了。2Q、誠英はメンバーを変更し、オールコートの威力は弱まったものの、ハーフコートOFFではハイポストフラッシュからのハイローやパスランプレーで得点を量産。#8が3Pやジャンプシュートで孤軍奮闘する岩国商業からさらにリードを奪い19 - 67で前半終了。3Q誠英は大きくメンバーを代えてスタート。岩国商業も2 - 3のゾーンにDEFを変え反撃を試みる。しかし、前半ほどの差は出ないものこのピリオドも11 - 20と誠英がリードし30 - 87と勝負をほぼ決めて最終Qへ。最終Q、岩国商業は誠英のDEFが緩んだところで得点ができるものの、誠英にも得点を許し差を縮められず、結局46 - 110と誠英が大勝した。



女子決勝リーグ 1月21日 11:00

下関南 vs 慶進	11 - 9	11 - 14	12 - 13	7 - 22	41 - 58
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
下関南 #4 田澤 #6 永富 #9 畑野 #13 八色 #15 中川 主審 重政由佳里					
慶進 #7 中尾 #8 藤井 #10 三池 #11 渡辺 #14 金光 副審 山村 征大					

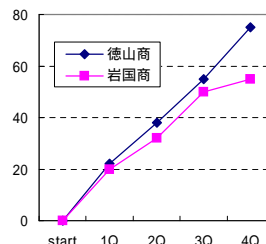
両者オールコートマンツーマンでスタート。1Q下関南は#4#6の連続3Pで先行する。DEFでは慶進のGにしっかりとプレッシャーをかける続ける。慶進は#8のインサイドプレーを中心に攻める。2Q下関南は慶進#8のインサイドプレーにダブルチームを仕掛け、封じにかかる。慶進はG陣にミスが続く。互いに中国大会のかかった試合。DEFも激しさを増す中一進一退の攻防が続くが、慶進はファールでもらったフリースローをしっかりとものに、終盤逆転1点差で折り返す。3Q両者意地のぶつかり合いで簡単に得点を許さない。4Q2点差を追いかける下関南はゴール下までボールをつなぐが、シュートがごとごとリングに嫌われ、じわじわ得点が離れていく。7点差ついたところで下関南#4が難しいターンアラウンドシュートを決め、さらにスティールから3Pを決め、一気に2点差と追いつける。残り6分どころか勝ってもおかしくない展開であったが、慶進は激しいDEFで得点を許さない。最後まで意地を見せた下関南であったが、一歩及ばずタイムアップ。慶進は中国大会に望みをつなげた。



女子決勝リーグ 1月21日 12:30

徳山商 vs 岩国商	22 - 20	16 - 12	17 - 18	20 - 5	75 - 55
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
徳山商 #4 河野 #5 平川 #7 浅田 #10 福田 #12 松木 主審 高木 直樹					
岩国商 #4 井上 #5 三品 #6 小野 #7 佐伯 #8 富岡 副審 尾中 優子					

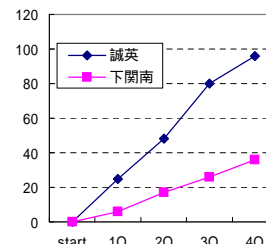
お互い勝同士で中国大会に向け負けない戦い。岩国商は#5の活躍で出だしリードを奪う。徳山商はブレイクの流れからの得点やリバウンドのこぼれ玉を拾うなどし得点。2Q徳山商は岩国商の戻りの遅さをつきブレイクやその流れから得点する。岩国商はDEFを2 - 3ゾーンに変更するも徳山商#4にショートコーナーをつかれバスカン。フリースローも決まり38 - 32徳山商リードのまま後半へ。3Qお互い決め手のないまま一進一退。徳山商がややリードを広げたところで岩国商またDEFをゾーンに。得点が止まった徳山商の間隙を突きじわじわ追い上げたが、終了間際、徳山商#5#7に連続で3Pを許し、徳山商リードのまま4Qを迎える。岩国商はマンツーマンを基本としながらもカウント後はゾーンとチェンジングDEFを試み、徳山商を揺さぶるが、思うように得点ができずゾーンがひけない。ここで、徳山商#4が3Pを含む連続得点を挙げ50 - 64と一気に突き放す。岩国商はその後5点しか奪えず試合終了。徳山商が中国大会へ大きく前進した。



女子決勝リーグ 1月21日 14:00

誠英 vs 下関南	25 - 6	23 - 11	32 - 9	16 - 10	96 - 36
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
誠英 #4 田中 #7 重森 #8 西田 #9 梶田 #14 前田 主審 中本 朋仁					
下関南 #4 田澤 #5 平地 #6 永富 #9 畑野 #13 八色 副審 岡村 知佳					

1Q両者マンツーマンでスタート。下関南#13のシュートで得点を重ねる。誠英はインサイドにボールを集めオフenseを展開する。その後、誠英はプレッシャーディフェンスからの速攻で着実に加点し誠英がリード。2Q誠英は#14を中心に怒濤の攻めを展開する。下関南は誠英の高さとパワーの前になかなか切り崩すことができない。点差がだんだんと開いていく。48 - 17で前半終了。3Qに入っても誠英のDEFは変わらない。OFFもハイローを中心に台形付近の圧力が強く、下関南を圧倒する。下関南は#4を中心にOFFを組み立てるがシュートが入らず点が伸びない。3Q80 - 26で終了。4Q誠英はメンバーを代える。下関南は当たりになってきたのか、カットインからリズムをつくるが開いた点差は大きく96 - 36で試合終了。誠英高校は4試合全勝で優勝。中国大会の切符を手にした。中国大会での活躍を期待したい。



女子決勝リーグ 1月21日 15:30

慶進 vs 徳山商	4 - 20	15 - 23	16 - 14	8 - 13	43 - 70
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
慶進 #7 中尾 #8 藤井 #10 三池 #11 渡辺 #14 金光 主審 嘉村 司					
徳山商 #4 河野 #5 平川 #7 浅田 #10 福田 #12 松木 副審 藤田 薫					

慶進は勝てば2位、負ければ5位と、中国大会出場をかけた大切な試合となった。その緊張からかやや浮き足立った感じでミスが目立つ。開始1分でT.O. #8のインサイドを徹底して攻めるも、シュートが落ち得点できない。徳山商はハイポストを使ってのスクリーンや、ローポストにボールを入れての1対1、あるいはそこからの合わせで得点を重ね、1Qを終わって4 - 20と慶進には苦しい展開となった。2Qに入っても流れは変わらず、徳山商の1対1もよく決まり19 - 43で前半を終了。3Q、慶進はやはり#8のインサイドを徹底。シュートも決まり、5分で30 - 47と徐々に差を詰める。徳山商は#4の得点で踏ん張り、35 - 57でこのQを終える。4Q、徳山商#8が4分、5ファールで退場し、慶進チャンスであったが、パスミスなどやや焦りが見られ追い詰めることができない。43 - 70で試合を終え、徳山商は2位で中国大会出場を決めた。慶進は若さによるミスが見られたが、試合の中で成長も見られた。

